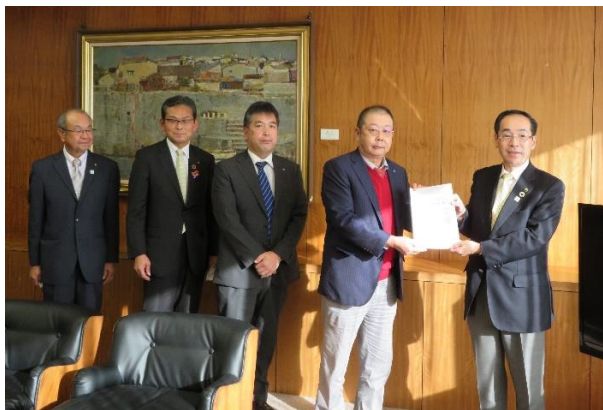


「政策・制度要求と提言」を申入れ

連合花巻北上地域協議会（及川 巧議長）は11月5日（金）北上市・西和賀町、8日（月）花巻市へそれぞれ「政策・制度要求と提言」を提出致しました。

この政策・制度要求は、連合岩手の方針及び当地協加盟組合からの要望等を推薦議員と意見交換を開催しながら纏めた物で「新型コロナウイルス感染症に関する対策」、「労働者施策」、「社会福祉、保健医療」、「教育の拡充」、「安心、安全、持続可能なまちづくり」、「ハラスメント対策」を盛り込んだ要請で、北上市と花巻市へは37項目、西和賀町へは36項目を要求。

2022年度予算をはじめ具体的な政策に反映していただき、市民・町民生活の安定と質の向上、活力ある市政・町政の実現に向け、各自治体へ申し入れ致しました。



北上市への申し入れには小原市議と平野市議にも同行頂き要請に対する懇談を開催。

高橋北上市長から渋滞対策はしっかり手を打たなければならない、補足資料についても具体的内容が一覧として纏められており、この様な要望は是非参考にし反映させていきたい。また、ゴミ袋については、有料化にする事で当市に住民票のない方にも（ゴミ処理の）費用負担を頂けるので、その分の税金を別な事に利用できており、市として検証した結果効果が出ている。との考えが述べられました。



西和賀町においては、高橋総務課長へ要請書を手交、通行止めが続く国道107号の仮設道路設置を国、県と連携し安全かつ早期に進めるよう求めた事に対し、近隣の市とも連携し進めており、地域住民に対しては朝の2時間に限り、錦秋湖サービスエリアから車の通行が出来るようゲートに人を付けている。様々な費用は発生するが、引き続きご意見を頂き参考にしたいとの考えが述べられました。



花巻市においては、若柳市議、阿部市議、照井市議が出席のもと申し入れを行ない、それぞれ担当部局から一部回答を頂きました。

上田花巻市長からは、具体的に要望が盛り込まれており参考にしたい。横断歩道の要望について、今年は事故が多い、市として出来る事は最優先課題として取り組んでいきたいと考えを述べられました。

各自治体からは、12月下旬を目処に書面での回答を頂く予定です。